

## &lt;別紙1&gt;

## 第三者評価結果報告書

## ① 第三者評価機関名

ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部

## ② 施設・事業所情報

名称： レイモンド川崎保育園	種別：認可保育所	
代表者氏名：岡部 千鶴	定員（利用人数）：50名（46名）	
所在地：〒210-0005	川崎市川崎区東田町8 パレール川崎3階	
TEL： 044-201-1313	ホームページ： <a href="https://www.lemonkai.or.jp/school/nursary/leimond-kawasaki-hoikuen/">https://www.lemonkai.or.jp/school/nursary/leimond-kawasaki-hoikuen/</a>	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日 2010年4月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人檸檬会		
職員数	常勤職員 14名	非常勤職員 7名
専門職員	（専門職の名称）	
	保育士	13名
	栄養士	1名
施設・ 設備の 概要	（居室数）	
	（設備等）	
	乳児室（1～2歳児室）1室	鉄筋コンクリート造り4階建ての3階 建物延べ面積：262.59㎡ 園庭：無
	幼児室（3～5歳児室）1室	
	沐浴室 1室	
	調理室 1室	
	トイレ 1室	
事務室 1室		
職員休憩室 1室		

## ③ 理念・基本方針

## 【法人理念】

子育てに喜びを 社会に新しい風を 笑顔あふれる子どもが住む未来の地球のために

## 【保育理念】

## （三つの心）

人（命）を愛するところ

自然とともに生きるところ

想像（創造）するところ

## 【保育の方針】

子ども一人ひとりの育ちに寄り添い、それぞれの生きる力を育みます

様々な体験を通して、しなやかな身体と豊かな感性を育みます

人の“つながり”、社会との“つながり”を育みます

#### ④ 施設・事業所の特徴的な取組

##### 【立地および施設の概要】

レイモンド川崎保育園は、社会福祉法人檸檬会（法人本部和歌山県紀の川市）が運営する認可保育園です。設立は2010年4月1日で、1歳児から5歳児まで定員を50名として、現在46名の園児が通園しています。園は、JR川崎駅から徒歩約10分の商業ビルの3階にあり、2フロアを1～2歳児、3～5歳児用に仕切りで分けて、異年齢で過ごしています。川崎区の特徴として、区民の7%を外国人が占めており、当園は外国人保護者が30%です。

##### 【園の特徴】

基本方針に、「子どもの主体性を大切にしたコーナー保育」を掲げ、2フロアを1～2歳児室、3～5歳児室に分け、それぞれにコーナーを置き、保育を行っています。幼児のスペースでは、保育士と粘土遊びをしているグループや、ハサミと折り紙で何かを作っているグループに分かれて作業をしています。また、ブロック、パズル、電車レールで遊べるコーナーに分かれて遊んでいます。それぞれのグループには、保育士が寄り添い、子どもを見守ったり、一緒になって遊んだりしています。狭いスペースを保育士が工夫をして、子どもが遊べるコーナーを用意しています。

#### ⑤ 第三者評価の受審状況

評価実施期間	2022年5月20日（契約日）～ 2022年12月26日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	2回（2013年度）

#### ⑥ 総評

##### ◇特長や今後期待される点

##### 1. 職員のチームワーク

園での生活を人と人が出会う温かい雰囲気のある場所とすることを、園長始め職員が一体となって心がけています。働きやすい環境を作るために、自分たちに何ができるかを考えて決めるように職員会議や昼礼で検討しています。全員で考えることをモットーとしています。1、2歳児、3～5歳児を2フロアに分けてどのような保育の展開ができるのか、限られたスペースの有効活用を皆で考え、環境を良い方向に考える形でチームワークづくりに結び付けています。職員で考え、方向性を示すことができるようになるチームが育ってきたと全員で認識しています。

##### 2. 子どもの自主性を重んじた保育

園では、朝夕に「サークルタイム」という子どもたちが意見を出し合い、話し合う時間を設けています。今日何をしたいか、今日の楽しかったこと等、皆の前で自分の言葉で発表しています。子どもたちが、自分で考えたことを、自分で言い、それが実行できたことの達成感を得ることを大切にしています。保育士は子どもが考えたことを、皆で力を合わせてやり遂げることができるよう協力し、子どもの創造性や社会性の能力向上に努めています。

##### 3. 研修計画の見直しの検討

園では、職員のキャリアステージを考慮した個人目標が設定され、法人内研修、外部研修が計画され、園内研修では、運営法人が作成した動画を使って事例研究会を実施しています。研修内容・カリキュラムの定期的評価と見直しを行うことが期待されます。

⑦ 第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

コロナ渦になり、3年がたち、保育園の運営について、全職員で改めて振り返る機会を作りたいと思い受審いたしました。保護者からのアンケートや職員のアンケートからも、法人理念や、保育園がどのような思いで取り組んでいるかということが、しっかりと伝わっていなかったこと、まだまだ保護者などとの対話や思いの交換をする場が少なかったことなどに気付くことができました。

職員は、日々、子どもたちのために、どうすることが最善の利益となるか、考え行動してくれていますが、まだまだ学びの途中です。法人内外の研修にも積極的に参加し、学んではいますが、実践へと繋げていくには、時間も必要です。

また、保育園と保護者は子どもを中心に一緒に育ちあっていける仲間でありたいとも思っています。なので、今後も学ぶ機会を多く持ち、ドキュメンテーションやさまざまなツールを利用し、保育園という場所を、レイモンド川崎保育園の保育を、知っていただく努力を惜しまず、保護者の皆様と一緒に子どもたちの成長を見守っていかれたらと思っています。

保育園という場所は、どの場面においても、すべて人と人との関わる場所です。今回の受審で、どの人にとっても、居心地のいい場にするには、もっとたくさんの交流の機会を持ち、対話を重ねていくことの大切さを感じました。

⑧ 第三者評価結果

別紙2のとおり